



今月は、マインドスポーツと呼ばれる将棋で活躍する、市の川小学校6年生の小柳伯雄さん、南中学校1年生の滝上昊生さんのお二人を紹介いたします(令和5年3月現在)。

「将来はプロの棋士になりたい」と話してくれた小柳さんは、小学校2年生のときに

小柳伯雄さん

お父さんに誘われて将棋を始め、その楽しさにのめり込んでいきました。昨年7月に出場した第11回J:COM杯3月のライオン子ども将棋大会では、関東大会で優勝、その後に進んだ全国大会ではベスト8の結果を残しました。「対戦が白熱すると、次の一手を考えることが難しくなってきますが、同時にそれが将棋の楽しいところです」と話してくれました。今後の目標は、前述の全国大会でベスト4に入ることだそうです。



「年齢や体格差に関係なく、対等に勝負ができる」と将棋の魅力伝えてくれた滝上さんは、5歳のときに将棋を知り、小学校3年生から本格的に取り組むようになりました。過去には、各大会で県代表や関東エリア代表として全国大会に2回出場を決めています。最近では、昨年12月の第18



滝上昊生さん

回U-18将棋スタジアムチャンピオンクラス(中・高生の部)で、見事優勝を飾りました。今では通っている教室で小学生の指導をするほどの腕前ですが、学生時代にたくさんの結果を残し、多くの経験を積んでいきたいと更なる飛躍に向けて意気込みを語ってくれました。



小柳さん、滝上さん、次の一手を楽しみながら、これからも頑張ってください。



ひがしつやま キッズ集合!

おしえて『文化財』

ガラス小玉鑄型



ガラス小玉の鑄型

写真は反町遺跡で出土したガラス小玉の鑄型です。ガラス小玉とは、ビーズ玉のようなガラス製の小玉のことで、鑄型のそれぞれの穴の中央にピンを立て、ガラスを砕いて入れ、鑄型を熱します。ガラスが溶けて丸い小さな玉となり、ピンをはずすと糸を通すための穴が空いたガラス小玉ができあがります。

反町遺跡は北に東松山台地、南に高坂台地を見上げる都幾川が作った沖積地にある、弥生時代から平安時代の遺跡です。特に古墳時代前期の集落としては、当時埼玉県で最大の集落です。この時代の貴重な遺物・遺構がたくさん見つっていますが「玉づくり」もその一つです。ここでは、水晶製の勾玉製作、緑色凝灰岩製の管玉製作のほか、ガラス小玉を製作したことも分かった遺跡です。特にガラス小玉の鑄型は、その重要性から令和5年3月17日付で、新たに県指定文化財(有形・考古資料)に指定されました。



反町遺跡(平成20年9月撮影)

問 埋蔵文化財センター 27-103333 27-10334

梶田先生と振り返る思い出の一コマ Vol.25

1990(平成2)年、市の花「ぼたん」の普及活動の一環として東松山ぼたん園が開園しました。開園当初は野田ぼたん公園という名称で、敷地面積は約6,500平方メートルでした。その後1999(平成11)年に拡張し、現在では約30,700平方メートルの面積を誇る関東有数のぼたん園となりました。2017(平成29)年には大型複合遊具がオープンし、幅広い年齢層に愛されています。

起伏のある丘陵に6,500株、150品種のぼたんが咲くんだよ。

ぼたん以外にも、ロウバイやアジサイ、イロハモミジやジュウカツザクラなど年間を通して季節の花が楽しめるよ。



東松山ぼたん園開園

1990(平成2)年

キャラクター紹介

市内の小・中学生に配布された学習漫画「漫画でわかる 梶田隆章先生とニュートリノ」のキャラクターたちです。

ニュートリノ三兄弟



梨花(姉)



歩(弟)



梶田隆章先生



東松山市生まれ。東京大学宇宙線研究所教授。1998年にニュートリノ振動の発見を発表。2015年にノーベル物理学賞を受賞。



埼玉県子ども動物自然公園 動物ZOO鑑

～園長おすすめ フラミンゴ～

雪が降ると…

2月10日に降った雪を覚えていますか?動物園の動物たちは雪なんてへっちゃら～もいれば冷たくて外になんか出たくな～いなど様々です。飼育係たちはどちらかというと「積もらないで～」が本音。なぜなら放飼場を覆うネットが雪の重さで切れてしまったり、ひどい時は支柱が折れたりするからです。そうすると直るまで動物たちを放飼場に出せなくなります。だから雪が降っている間はできる限りほうきや棒でネットをつついて雪を落として周ります。しかし、2月の雪は水分が多く重い雪でした。翌朝、フラミンゴコーナーのネットは無残にも崩壊してしまいました。

このネットはフラミンゴが外に出ないために覆われているのではなく、外から野生のカモやスズメなどが入らないようにするため。年々猛威を振るう鳥インフルエンザからフラミンゴたちを守る為、毎年スタッフが縦横無尽にテグス(釣り糸)をはり、その上にネットをかぶせています。ですから、すぐに直さなくてはなりません。他の動物担当の飼育係、ゲートスタッフも加わり、みんなで大改修作業が始まりました。前日から雪を避けて舎内に収容されていたフラミンゴたちは作業の様子をずっと見ていました。やっと改修が終わり、フラミンゴたちを放飼場に出すと、みんな一斉に羽繕いを始めたり、羽を広げたりとのびのびとしていました。

雪が降ると「動物舎は大丈夫かな?木が倒れてないかな?」と心配事が頭を巡ります。子どもの頃は「雪だるま作ろうかな?かまくらできるかな?」とワクワクでテンションが上がりっぱなしだったのにね。



雪の重さでネットが…



スタッフ総出で張り直し



羽を広げてのびのび

人口と世帯(3月1日現在)

人口: 90,554人	(+ 3)
男: 45,536人	(- 1)
女: 45,018人	(+ 4)
出生(2月中): 37人	(- 7)
死亡(2月中): 93人	(- 18)
転入等(2月中): 382人	(+ 80)
転出等(2月中): 323人	(- 12)
世帯数: 42,294世帯	(+ 5)

* ()は前月比

交通事故発生件数(2月中)

発生件数: 304件※
人身事故: 38件(死者: 0人、けが人: 54人)
物損事故: 304件

※東松山警察署管内(東松山市、滑川町、川島町、吉見町)の件数

市内の空間放射線量測定結果

市内34か所で空間放射線量を定期的に測定しています。3月の測定においても、基準値を下回っています。測定結果の詳細は、市HPに掲載しています。環境政策課 ☎63-5006 ☎23-7700

